

青空の下、一斉にスタートする参加者たち



北海道新聞

発行所
北海道新聞社

郵便番号 060-8711
札幌市中央区大通西3-6
電話 011(221)2111
© 北海道新聞社 2005

速報

インターネットで道新ニュース
www.hokkaido-np.co.jp

ご購入申し込みは
0120-464-104

道新スポーツ

福岡、佐賀で震度6弱

福岡管区気象台によると、20日午前10時53分ごろ、福岡県と佐賀県で震度6弱の地震があった。福岡県日本海沿岸、長崎県の杵岐・対馬に津波注意報が出た。

早春の丘バーサー開く

国内最大規模のクロスカントリースキーと歩くスキーの大会「バーサーロペット・ジャパン」(旭川市、北海道新聞旭川支社などをつくる組織委主催)が20日、旭川市郊外の旭川競馬場を発着するコースで開かれた。春めいた日差しが降りそそぐ中、約四千二百人が大雪山系を望む丘陵地帯を駆け抜けた。

タイムを競うクロスカントリースキーには、国内トップクラスの選手も出場し、雪原を滑走。歩くスキーでは、子供からお年寄りまでが、それぞれのペースでさわやかな汗を流した。海外からは韓国など海外八カ国の選手が参加、早春の北海道の自然を満喫していた。恒例のパフォーマンスコンテストも行われ、各チームの趣向を凝らした装いが会場を沸かせた。

第25回バーサーロペット・ジャパンのクロスカントリースキー各種目の50位までの成績を、22日の北海道新聞朝刊道北版に掲載します。

22日朝刊に記録掲載

北海道新聞旭川支社

〒070-8720

旭川市4条通10丁目

報道 TEL 0166・21・2516

販売 TEL 0166・21・2533

FAX 0166・21・2517

広告 TEL 0166・21・2540

E-mail asahik@hokkaido-np.co.jp

事業 TEL 0166・21・2555

北海道新聞旭川支社公式ホームページ(HP)アドレス <http://asahikawa.hokkaido-np.co.jp>



旭川競馬場を一齐にスタートする参加者。記念すべき初開催には約1800人が参加した=第1回大会(1981年)



力走するスウェーデンのカール16世グスタフ国王(中央) 第10回大会(1990年)



大会前日の交歓会に出席した(左から)荻原健司、河野孝典、三ヶ田礼一のアルペールヒル五輪ノルディック複合団体の金メダリスト 第12回大会(1992年)



大会を盛り上げる呼び物としておなじみとなったパフォーマンスコンテスト=第24回大会(2004年)

雪原に刻んだ25年

国際色豊か、市民の祭典

国内最大規模を誇るクロスカントリースキーと歩くスキーの祭典「パーサーロペット・ジャパン」は今年、二十五回目の節目を迎えた。四半世紀の歩みを振り返るとともに、大会が果たしてきた役割を紹介する。

「パーサーロペット・スウェーデン」は、スウェーデンンマーク兵から逃れるために一九二二年から続いている雪原をスキーで駆け抜けるクロスカントリースキーの大会「パーサーロペット」にちなみ、一九八一年に「旭川国際パーサー大会」として始まった。「パーサー」の名前は、十六世紀のスウェ

は、大会史上最多の一万三千四百九十一人が出場。九〇年には本場スウェーデンからカール十六世グスタフ国王も参加し、大会を盛り上げた。しかし、九一年は記録的な暖冬のため、競技実施の目安となる積雪量が五〇センチに満たず、大会そのものが中止に追い込まれた。九〇年代に入ってから

参加者の減少が目立つ。不景気で協賛企業が減ったことに加え、道内各地でクロカンや歩くスキーの大会が開かれるようになった影響も大きい。参加者減に歯止めをかけるのと同時に、大会のあり方を模索するため二〇〇〇年の第二十回大会から、男子五十キ、三十キを廃止。新たに二十キのコースを二

周する四十キを設けたり、仮装の獨創性を競う「パフォーマンスコンテスト」を催すなど、競技経験がなくても楽しめる「祭り」としての色合いを強めている。また、中国やロシアの大使、総領事、韓国の選手団が参加するなど、旭川の重要な国際交流の場となっているのも特徴だ。

〈パーサーロペット・ジャパン25年の歩み〉

1981年(第1回)	「旭川国際パーサー大会」として初開催、約1,800人が参加
1984年(第4回)	参加者数が初めて1万人を超える
1986年(第6回)	大会史上最多の1万3,491人が参加、「旭川国際パーサースキー大会」に名称変更
1988年(第8回)	大会開会式後に市民が買物公園で行進、五輪招致をPR
1990年(第10回)	スウェーデンのカール16世グスタフ国王が参加、健脚を披露
1991年(第11回)	記録的な雪不足でコース整備ができず大会が中止に
1992年(第12回)	アルペールヒル五輪ノルディック複合団体の金メダリスト、河野孝典選手らが参加
1993年(第13回)	参加者数が1万人を割り込む
2000年(第20回)	コースの大幅な変更。50キ、30キがなくなり、40キコースを新設
2003年(第23回)	「旭川国際パーサースキー大会」から「パーサーロペット・ジャパン」へ名称変更